



令和5年度



# 学校だより 3月号

自分大好き みんな大好きひとみかがやく西が岡の子

横浜市立西が岡小学校 泉区西が岡3-12-11 TEL 814-3603  
<http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/nishigaoka/>



## 大谷選手からのメッセージ

校長 佐藤 裕二

温かい日差しを受けて、校内の木々の芽が一段と膨らんできました。学校のあらゆる所で、春がもうすぐそこまで来ていることを実感する今日この頃です。

メジャーリーガーの大谷翔平選手から全国の小学校に寄贈されたグローブが本校にも届き、2月6日の朝会で紹介をしました。2月16日の懇談会の終了時刻に合わせて昇降口に展示していましたので、ご覧になった保護者の方もいらっしゃると思います。朝会で紹介した後、6年生から順にボールと一緒にクラスにまわし、子どもたちが直接手に触れ、キャッチボールができるようにしています。卒業式までには全クラスをまわる予定です。



大谷選手と言えば、去年3月のWBC決勝戦前の円陣の中で語った「憧れるのをやめましょう。」という言葉が有名です。憧れることがいけないのではなく、その次に発した「今日一日だけは彼らへの憧れを捨てて、勝つことだけ考えていきましょう。」のとおり、大前提として日本代表の選手たちは誰もが一流の大リーガーに常に憧れの思いをもっているということです。

「憧れる」ということは、自分を成長させるための大きな原動力です。それは、その人の実績や技術力だけではなく、人となりも含めたものなのでしょう。大谷選手からの贈り物には、「野球しようぜ!」のメッセージカードにもあるように、日本の多くの子どもたちがこの機会に野球に興味をもってほしいという思いが込められています。大谷選手のようにになりたいという憧れをもって野球を始める子どもたちが日本中にはたくさんいると思います。

野球のようなスポーツ選手に限らず、様々な人への憧れをもつことで、子どもたちの未来も限りなく広がっていきます。憧れの対象は、伝記などの書物で知る場合もありますし、身近なところでは、すぐ近くの大人や上級生も憧れの対象になる可能性があります。思い起こすと、私自身も小学校4年生の時のクラスががとても楽しく、将来はそのクラスの担任をしていた先生のような仕事をしたいと思ったことが、今の自分に繋がっています。そう考えると、日々、子どもたちと接していることの責任の重さを改めて感じさせられます。

これからも、子どもたちの健やかな成長のために、子どもたちにとって豊かな社会環境の一部でありたいと思います。